

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

項目番号	第7期介護保険事業計画に記載の内容				令和2年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
1	①自立支援、介護予防、重度化防止	四街道市は、前期高齢者の割合が高かったが、徐々に後期高齢者へ移行しているため、介護認定者の急激な増加が見込まれます。それを緩和するために、一般介護予防事業において、住民主体の通いの場を充実させ、自主活動による予防活動の推進を進める必要があります。	一般介護予防の実施。 「週いち貯筋体操」等により地域活動組織の育成・支援を行うとともに、活動を支援するボランティア等の養成を行っています。また、介護予防の必要性や具体的な介護予防活動についての普及啓発を図るため、各種教室や講座を開催し、自宅での介護予防のための取り組みを支援していきます。	介護予防の自主活動組織を30か所、実参加者数400人。 自主活動を支援するボランティアの養成。 介護予防の普及啓発のための各種講座の開催。	新型コロナウイルス感染症拡大により、活動自粛期間があった。介護予防の自主活動組織24か所中、20か所が感染症対策を講じながら順次活動を再開し、実参加者数429人が活動できた。介護予防普及啓発のための講座開催は中止となったが、市政だより特別版への情報掲載、ホームページへの掲載、パンフレット配布等実施した。	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら活動継続を支援しつつ、新規立ち上げ支援も実施し、活動拠点を増やす。各種講座内容を見直し、感染症拡大防止をしながら実施できるようにする。
2	②介護給付等費用の適正化	介護給付費の適正化のためのシステムを活用し、過剰な介護保険サービスの利用の疑いがあるケアプランについて、ケアマネジャーに点検を促す等、ケアプランの点検を行っています。 また、要介護認定者等が利用した介護サービスを確認し、身に覚えのない介護サービスの利用履歴がないかを確認するために、介護サービスに要した費用を記載した介護給付費通知を发出しています。	介護給付費の適正化のためのシステムを活用し、過剰な介護保険サービスの利用の疑いがあるケアプランについて、ケアマネジャーに点検を促す等、ケアプランの点検を行っています。 また、要介護認定者等が利用した介護サービスを確認し、身に覚えのない介護サービスの利用履歴がないかを確認するために、介護サービスに要した費用を記載した介護給付費通知を发出しています。 今後も事務の効率的な実施に向けた改善を図りつつ、介護給付費の適正化に努めています。	介護給付費の適正化のためのシステムを活用し、過剰な介護保険サービスの利用の疑いがあるケアプランについて、ケアマネジャーに点検を促す等、ケアプランの点検を行う。 要介護認定者等が利用した介護サービスを確認し、身に覚えのない介護サービスの利用履歴がないかを確認するために、介護サービスに要した費用を記載した介護給付費通知を发出する。 事務の効率的な実施に向けた改善を図りつつ、介護給付費の適正化に努める。	介護給付費の適正化のためのシステムを活用し、過剰な介護保険サービスの利用の疑いがあるケアプランについて、ケアマネジャーに点検を促す等、ケアプランの点検を行いました。 また、要介護認定者等が利用した介護サービスを確認し、身に覚えのない介護サービスの利用履歴がないかを確認するために、介護サービスに要した費用を記載した介護給付費通知を发出しました。	◎	事務の効率的な実施及びそれに向けた改善策。